

特集記事「鉄道文化を後世に」

保存 SL が王寺町指定文化財に

令和6年(2024)7月15日

以下文は紙面より引用

奈良県王寺町はこのほど、同町舟戸の舟戸児童公園内で静態保存されている SL「D51 形蒸気機関車 895 号機」および、同町地域交流センター（同町久度 2 丁目・リーベル王寺東館 5 階）に展示中の赤いナンバープレート 4 点を、町の指定文化財（歴史資料）に指定した。県内で保存されている SL が文化財に指定されるのは今回が初めてである。

同町は、明治 23（1890）年の王寺駅開業を契機に「鉄道のまち」として発展してきた歴史があり、SL という明治時代以来の鉄道文化を末永く伝えるため、今回の指定が行われた。町は 2026 年 2 月 11 日の町制施行 100 周年を見据え、さらなる保存・活用を図るという。

なお、D51 形 SL が市町村の指定文化財となっている事例は、鳥取県米子市および北海道安平町にある。

【D51 895 号機とは】

同機は 1944（昭和 19）年 5 月 10 日、日立製作所で製造された。柳井・岩国（山口県）、広島第二、津和野（島根県）、鳥取、福知山（京都府）の各機関区を転属し、1971（昭和 46）年 4 月 5 日から 1972（昭和 47）年 11 月 7 日の引退まで奈良運転所に配属された。関西本線や草津線を走行し、運転距離は 163 万 3969 キロに及ぶ。



現役時代（昭和 47 年（1972）年 3 月 8 日）

貨物列車を牽引し、王寺駅に入線中の D51 形 895 号機
撮影：天白逸郎氏（奈良県立図書館今昔写真 WEB 蔵）



現役時代（昭和 47 年（1972）年 7 月 24 日）

関西本線の鹿背山トンネル（木津川市）を抜ける D51 形 895 号機
撮影：木村守男氏（奈良県立図書館今昔写真 WEB 蔵）